

サポート情報

たった2日でマスターするiPhoneアプリ開発集中講座
Xcode 14 / iOS 16 / Swift 5.7 対応

本書の出版時は、Xcode14.0 での動作確認を行っています。Xcode・Swift・iOS のバージョンアップに伴い、本書の記載内容やサンプルアプリに変更が必要なときがあります。

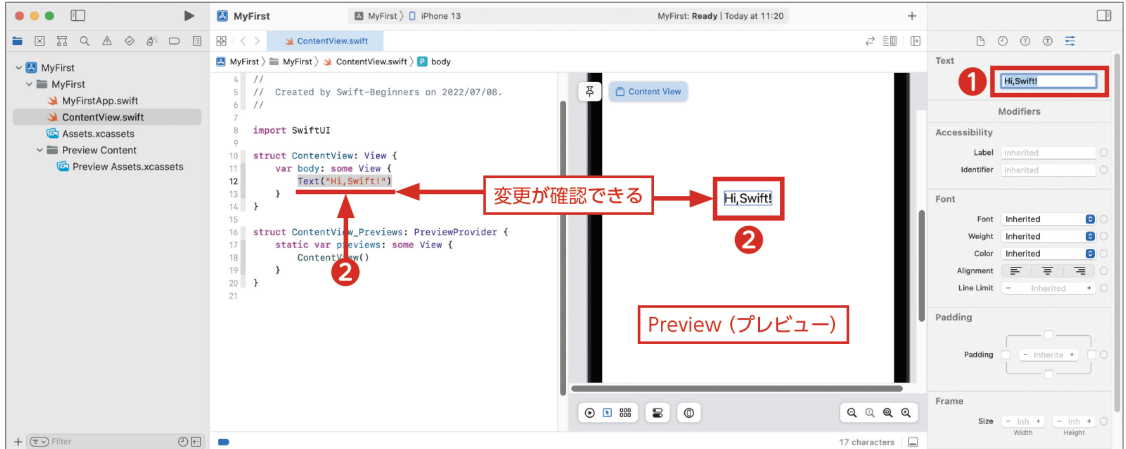
変更が必要な箇所を、このサポート情報にてご連絡いたします。

ご使用されている **Xcode** のバージョンをご確認の上で、このサポート情報を利用してください。また、正誤も合わせて記載させていただきます。

■既知の不具合内容:

XcodeやSwiftにて不具合・バグとして認識されている箇所です。

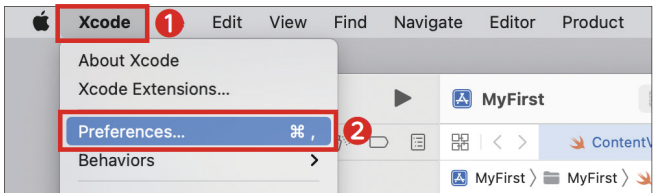
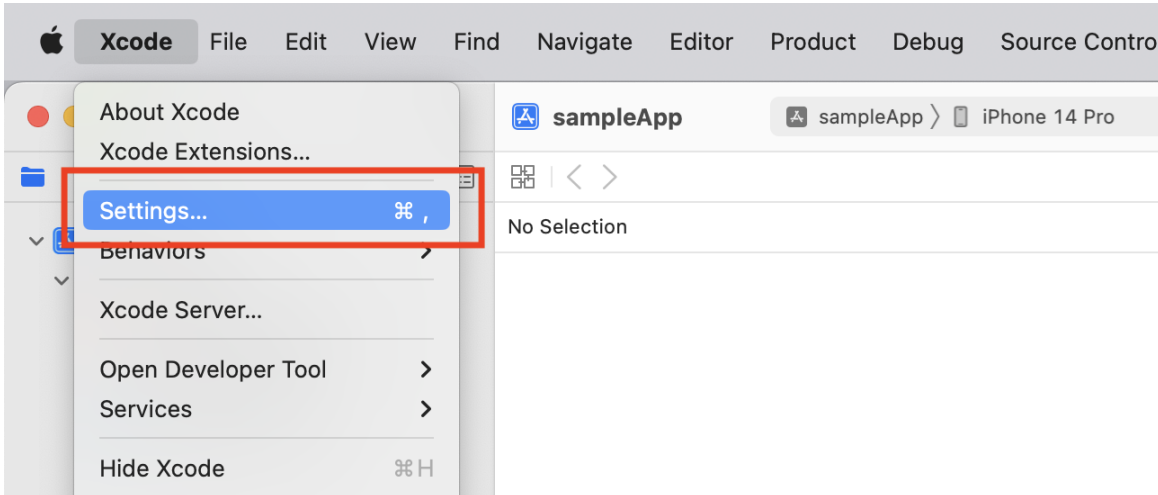
P.66: 図「[Text]の文字列を変更」にてテキストが変更されない

<p>本書での解説</p>	<p>▼ [Text] の文字列を変更</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1 [Attributes inspector] の [Text] の文字を「Hi, Swift!」に変更しキーボードの [return] を実行してください。 2 コードの文字列が「Hello, World!」から「Hi, Swift!」に自動で変更され、Preview (プレビュー) にも反映されます。コードの文字を修正しても同様で、[Text] の文字と Preview の表示が「Hi, Swift!」に切り替わります。
<p>不具合の箇所</p>	<p>本来であれば、①の箇所でテキストを入力すると、プレビューやコードに反映される仕様ですが、現状は反映されません。テキストを修正するには、②のコードを修正してください。</p>

■変更内容:

執筆時点では問題がありませんでしたが、XcodeやmacOSのバージョンアップやApple社の影響に伴い変更になった箇所です。ご自身のバージョンを確認した上で、次の変更箇所を参考にしてください。

本書全般:「macOS Ventura」にて[Preferences]が[Settings]へ表記がかわりました。

<p>macOS Monterey</p>	<h3>1 Xcode の環境を設定しよう</h3> <p>Xcode の [Preferences] (プリファレンス: 環境設定) を、自分好みに設定することでより使いやすくなります。</p> <p>環境設定以降は、再度設定するまでその設定が継続されるので、最初に Xcode の環境設定をしましょう。</p> <p>ここでは、行数番号の表示設定、フォント & カラーの設定、コード折りたたみ機能の設定、Minimap (ミニマップ) の設定方法を説明します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 アプリケーションメニューから [Xcode] を選択します。2 [Preferences] をクリックします。 <p>[Preferences] (環境設定) 画面が表示されます。ここでは、Xcode をより使</p> <p>▼ プロジェクトテンプレートの選択</p> 
<p>macOS Ventura</p>	<p>macOS Venturaでは、[Settings]に変更されています。</p> 

■正誤表:

本書において下記のとおり、誤りがございました。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

P.135: 表「Swiftの基本的なデータ型」にて説明に赤字に誤りがあります。

【誤】	▼ Swift の基本的なデータ型		
	種類	データ型	説明
	整数型	Int 型	整数を扱う場合は Int 型を利用。
	整数型	UInt 型	符号のない整数を扱う場合は UInt 型を利用。ただし、特別な理由のある場合を除いては、Int 型の利用を推奨。
	実数型	Float 型	整数に小数値を加えた数を実数と呼ぶ。または、浮動小数点とも呼ばれる。最大有効桁数 7 桁。
	実数型	Double 型	Double 型にも実数を格納できる。最大有効桁数 16 桁。 <u>Float 型と Double 型は実装を格納できますが</u> 、特別な理由のある場合を除いては、Double 型の利用を推奨。
	論理型	Bool 型	条件の真偽を表すデータを扱う場合は Bool 型を利用。true (真)、false (偽)
	Float 型とDouble 型は 実装 を格納できますが、		
【正】	Float 型とDouble 型は 実数 を格納できますが、		